

ローラースケート・全日本学生選手権

男子が総合優勝

「スピード」優勝、「ホッケー」3位



3位に入賞したホッケー部門

全日本学生ローラースケート選手権が10月17日から19日まで、長野県長野市で行われ、男子がスピード部門で優勝、ホッケー部門で3位となり、総合優勝を果たした。スピード部門では、内田主将(経営4・大宮北高)が3000以上の000以上の2種目を制覇。1600以上のリレーでも大久保和哉(文4・橋本高)・青木啓介(経営4・聖学院高)・道本雅之(経営3・日野台高)・中村昌高(商3・浦和)が3位に入賞した。ホッケー部門は不参加で、総合5位だった。(吉野 瞳・文1)

内田が2種目制覇

ホッケー部門で敢闘賞も

内田主将は「優勝を目標にしていたので、決まった時は感極まるものがあった。多くの試合をした経験が優勝につながった。後輩たちには連覇を狙ってほしい」と語った。女子は3000メートルタイムレースで御手洗葵(文3・大分上野丘高)が2位と健闘しスピード部門3位。ホッケー部門は不参加で、総合5位だった。(吉野 瞳・文1)

能登が優秀選手賞

9勝5敗の3位に インカレに期待

男子の関東大学バスケットボールリーグ戦が9月6日から10月19日まで、東京都の代々木第二体育館ほかで行われた。専大は9勝5敗のリーグ3位で大会を終え、個人では能登裕介(経済4・泊高)が優秀選手賞に選

ばれた。最終戦の相手は東海大。第4ピリオド、残り3分で逆転を許すと、最後まで粘りを見せたものの、78-83で敗れた。中原雄監督は「インサイドを起点にプレーすることがチームの課題だった。勝てる試合もあったので悔しいが、選手たちは良くやってくれた。次につなげる試合でもあったので、インカレまでに修復していきたい」と語った。(菅原 亜美・文1)写真も

た。勝てる試合もあったので悔しいが、選手たちは良くやってくれた。次につなげる試合でもあったので、インカレまでに修復していきたい」と語った。(菅原 亜美・文1)写真も

女子は5位

女子の関東大学リーグ戦

女子の関東大学リーグ戦(8月30日、10月19日、埼玉県・戸田市スポーツセンターほか)は7勝7敗の5位となった。児玉茂監督は「チーム

選手団入りを目指している。集大成となる今

剣道・全日本学生優勝大会

ベスト16

全日本学生剣道優勝大会が10月26日、日本武道館で行われ、専大は昨年と同じ、ベスト16という結果に終わった。9月の関東学生でベスト8となり、今大会の出

場権を得た専大。徳山大との1回戦を問題なく突破すると、続く2回戦も九州共立大に圧勝して3回戦へ駒を進めた。強豪筑波大を相手に意地を見せたかったが、0-4

で敗れた。小倉祐太郎主将(経済4・阿蘇高)は「結果には満足していないが4年間、一生懸命取り組んできたので、悔いはない」と話した。(山中 克浩・経済1)

理恵(商1・湘南工科大)がベスト4入りを果たした。シングルスで古賀がベスト8、松山芳(経営3・静岡市立高)がベスト16に進出した。古賀は「ダブルスは調子に波があったが、大事などころで実力を発揮することができたので良かった。シングルスは調子が良く、もっと上を狙えたいと思うので悔しい。今後に向けて、サブの安定性を向上させたい」と話した。(堀田 祐太郎・文1)

準硬式野球・東都大学秋季リーグ戦



学生選抜チームで活躍が期待される牧野(撮影・佐山)

6勝7敗で4位に終わる

田中、牧野が全日本学生選抜の一員として台湾へ

東都大学準硬式野球秋季リーグ戦が10月25日まで、八王子市民球場ほかで行われ、専大は6勝7敗・勝ち点2でリーグ4位に終わった。林真吾主将(経営4・観音寺第一高)は「改めて全員野球の大切さを知った。また一から頑張ります」と振り返った。しかし、個人では田中季(経営3・鳴門工高)、牧野翔太(経営2・作新学院高)が全日本学生選抜チームに選ばれ、台湾交流試合(11月27-30日・台北市)に出場する。また、田中、牧野、川田高(経営1・桐生第一高)は全関東学生選抜チームの一員として全日本

自動車・関東学生対抗6時間耐久レース

攻めの走りで初優勝

交代・補給も順調 全員一丸



ゴール後、互いの健闘をたたえ合う

関東学生対抗チーム・マイナス6%軽自動車6時間耐久レースが10月13日、長野県スポーツアイランド信州で行われ、自動車部が初優勝を挙げた。この大会はチーム・マイナス6%の一員である全日本学生自動車連盟関東支部が主催。バイオエタノール3%混合燃料」を全面的に使用し、環境にやさしいモータースポーツ活動を提案する。レースは1周約1.8キロのダートコースを複数回のドライバーで交代しながら走り、周回数と速さを競う。専大は154周で、2位の法大Aチームに2周差をつけ、栄冠を勝ち取った。田村郷主将(文4・駒場高)は「昨年は結果が残せなくて悔しい思いをしたので、絶対に勝つ」という思いで挑んだ。攻めの走りで、100%の力を出せた。交代や補給などのピット作業もスムーズにでき、裏方も含めチームで取った勝利です」と語った。(久田 照喬・商2)

来春の昇格に手こたえ

6勝4敗で惜しくも3位

関東学生対抗チーム・マイナス6%軽自動車6時間耐久レースが10月13日、長野県スポーツアイランド信州で行われ、自動車部が初優勝を挙げた。専大は6勝4敗で3位。2位以上に入らず、1部との入れ替え戦への進出はならなかった。しかし、2位とは同勝敗数で、セット率の差で3位となり、力の差はほとんどない。また、今季のレギュラーのほとんどが残るので、来春は昇格が十分期待できる。(吉野 瞳・文1)

後がない2回戦は先発・太田真司(経営2・金沢桜丘高)が9回を一人で投げきり、3-2で接戦をものにした。最終戦は2回、8番・森山誠(経営2・金沢高)のタイムリーヒットで同点にする。5-2で勝利し、勝点を奪った。馬場強司主将(商4・東邦高)は「4年次生中心に一丸となって戦い、最後に意地を見せることができた」と話した。(佐山 竜太・経済2)

細亜大学体育館で行われ、専大は6勝4敗で3位。2位以上に入らず、1部との入れ替え戦への進出はならなかった。しかし、2位とは同勝敗数で、セット率の差で3位となり、力の差はほとんどない。また、今季のレギュラーのほとんどが残るので、来春は昇格が十分期待できる。(吉野 瞳・文1)

混合チームで出場し3位

大分国体〈専大選手〉

10競技・42人が各県代表で活躍

9月27日から10月7日まで開催され、専大からは10競技42人(11月13日現在)の選手が出場し、各都道府県の代表として活躍した。レスリング競技ではフリースタイル120kg級で荒木田進謙(経済3・光星学院高)が初優勝を挙げた(10月10日)。ほか、グレコローマン84kg級で矢野将章(奈良県)、同120kg級で平川臣一(福岡県)が3位入賞。また卓球競技で徳増信弥が静岡県代表として、フェンシング競技で阪野弘和(経済3・武生商高)が福井県代表として団体3位に貢献した。

国際大会

出場選手

- ◇準硬式野球部 川添 真広(法3・県立岐阜商高) 鈴木 俊(経済3・石橋高) 高井 祐人(経済2・小山高) 坂東龍一郎(ネット情報2・県立岐阜商高) 15回フレンドシップトーナメント(12月4-9日)米田・グアム

記録コーナー

- ◇アーチェリー部 全日本ターゲット選手権(10月24-26日)静岡 梶川市つま恋(リカ1)個人 星達也(経営1・馬頭高) 31位
- ▽関東学生フロンティアカップ(10月15-17日) 【男子個人】佐伯朋哉(経営3・大宮開成高) 3位、早川6位 【女子個人】井野舞子(文4・高崎北高)が他大学との混合チームで出場し3位